

活動名	令和4年度応用理学研究会野外見学会 (CPD番号 4-9)
主催	(公社) 日本技術士会東北本部岩手県支部応用理学研究会
日時	2022年10月28日(金) 9:00~16:30
場所	北上市和賀町岩崎新田、山口、横川目、岩沢地内
参加人数等	総勢24名(講師1名、現地案内2名を含む)

活動内容

岩手県支部応用理学研究会では、昨年度に引き続き、継続研鑽の一環として現場見学会を企画し、次のような内容と行程で見学を行いました。

テーマ：北上市西部における新第三紀の地質見学と水沢鉦山跡を訪ねて

講師：大石雅之氏（理学博士／元岩手県立博物館学芸部長／岩手県立博物館研究協力員／東北大学総合学術博物館協力研究員／三陸ジオパーク学術アドバイザー）

※水沢鉦山跡の現地案内：早川英信氏（北上市岩沢地区自治会会長）

：泉喜久雄氏（北上市岩沢地区自治会副会長）

※オブザーバー参加：佐藤修一郎氏（岩手県立博物館 専門学芸調査員）

<行程>：9:00 瀬美温泉駐車場に集合し開会挨拶、自己紹介、注意事項など

9:15~10:15 Stop1・2 夏油川・外鱒沢での地質観察

10:45~11:45 Stop3 鈴鳴林道ヨリ沢での地質観察

12:00~12:45 昼食（ふるさと体験館北上：特製お弁当）

13:00~14:00 Stop4 菱内川での地質観察

14:10~14:25 Stop5 綱取の大断崖の観察

14:35~14:50 Stop6 岩沢駅で水沢鉦山資料展示見学

15:00~16:00 Stop7 水沢鉦山跡見学

16:15~16:30 岩沢駅にて閉会（御礼・挨拶・順次解散→帰路、北上西 IC 等で順次解散）

当日は、好天に恵まれ何よりでしたが、お昼休みが短くなるなど余裕のない工程になってしまって申し訳ございませんでした。とはいえ、大石先生からのたくさんの貴重な地質の話、急崖ありの山道歩いての地質観察、沢を渡っての魚鱗化石と断層の観察、隆盛に思いを馳せての水沢鉦山跡の見学、予想外のキノコ採取などもあり、紅葉を愛でながらの貴重な秋の一日となりました。

丁寧なご説明を頂いた大石先生、水沢鉦山で現地案内を頂いた早川さん、泉さんに、そして事故なく無事に見学会を行えまして、参加の皆様方のご協力に深く感謝申し上げます。

《菅原 弘 記》

・・・活動状況写真・・・



← Stop1 瀬美温泉駐車場で集合の様子

好天に恵まれ、自己紹介などの後、見学会のスタートです。今日一日、安全に気をつけて、よろしくお願いします。



↑ Stop2 講師の大石先生

それぞれの観察場所で、丁寧な説明をしていただきました。  
ありがとうございました。

↓ Stop3 ヨリ沢での集合写真

竜の口層の見事な貝化石層の前で集合写真を撮影しました。  
このポイントでは本畑層ヨリ沢凝灰岩の火山豆石や、地すべり地形も観察しました。



↑ Stop2 外罇沢での地質観察

中新世後期から鮮新世の地質である竜の口層と鮮新世の地質である本畑層の地質を、砂防堰堤の管理道路から観察しました。

竜の口層は貝化石を含む海成層ですが、本畑層は亜炭層を含む陸域の地層です。この観察ポイントでは二つの地層の境界（不整合）付近が良く観察でき、大石先生から、地層境界に関する詳しいお話をさせていただきました。





↑ Stop4 菱内川での地質観察

竜の口層よりやや古い中新世後期の地質である菱内層の地質を観察しました。菱内層は砂岩泥岩の互層であり、魚の鱗の化石をたくさん見ることができます。また、植物の葉や丹念に探すと魚の骨の化石を見つけることができます。さらに、露頭では断層を観察することもできました。

↓ Stop5 綱取の大断崖

国道脇の駐車場から、「綱取断層」を遠望観察しました。植生の繁茂が著しいこと、「断層」の呼称は訂正されるべきことなどの説明をしていただきました。



↓ Stop6 岩沢駅水沢鉱山展示資料室

岩沢地区自治会長の早川英信氏から展示資料の解説をしていただきました。ありがとうございました。





↑ Stop7 水沢鉱山跡での集合写真

水沢鉱山は、白亜紀の花崗閃緑岩中に胚胎する鉬脈型鉬床で、主として銅を産出しました。製錬所では、大正年間の最盛期には1日あたり精鉬20トンの処理が可能だったといわれ、周辺に3000人が暮らし、学校や郵便局、駐在所、劇場までありました。

↓ Stop7 ズリ捨て場の観察

紅葉の中、林道を少し歩いてズリ捨て場に行きました。緑色の酸化銅が混じる花崗岩や小さな水晶を含む岩石などが観察できました。



↑ 岩沢駅(綱取断崖がモチーフの駅舎)での閉会

最後に小野寺徳雄支部長からご挨拶を頂いて閉会となりました。  
ご参加の皆様、お疲れ様でした。  
安全運転で御戻りください。

—以上—